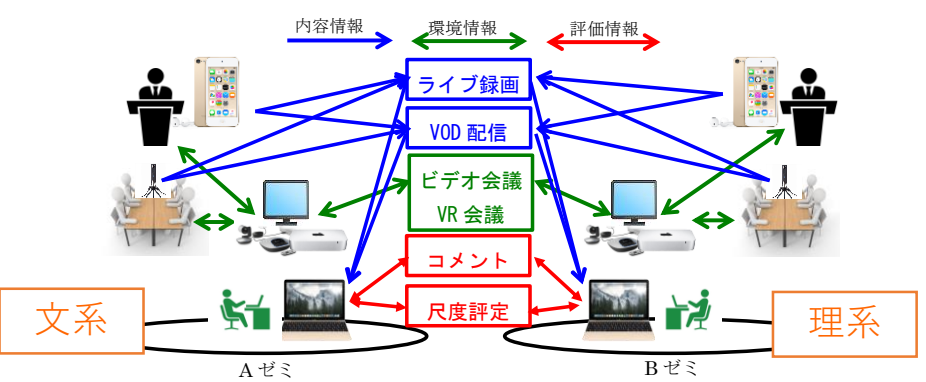


代表者 : 香川大学創造工学部・助教・米谷雄介、 チーム名 : 永岡ゼミ同窓会  
 研究タイトル : 国際間Vゼミ支援に向けた統合ゼミ活動支援システムSMSの拡張

**ゼミ**は、汎用的スキルの養成における有効性など、その教育的機能が見直されつつある、古くて新しい教育方式である。学習に関連する**主要な制御可能因子**は**(1)構成員**、**(2)活動方法**、**(3)構成員の関わり方**の3つである。本研究は、**複数大学ゼミの協働により新たなゼミを構成する方式**（Vゼミと呼称）を支援し、**活動方法や関わり方のイノベーション**を促進する統合ゼミ活動支援システムSMSを開発してきた。今回、これまで国内で行われてきた**Vゼミを国際間に拡張**するため、**SMSの多言語対応**を行った。現在は、本システムを用いた**国際間での大学協働の実践**を計画している。

市場の観点から眺めたSMSの概念



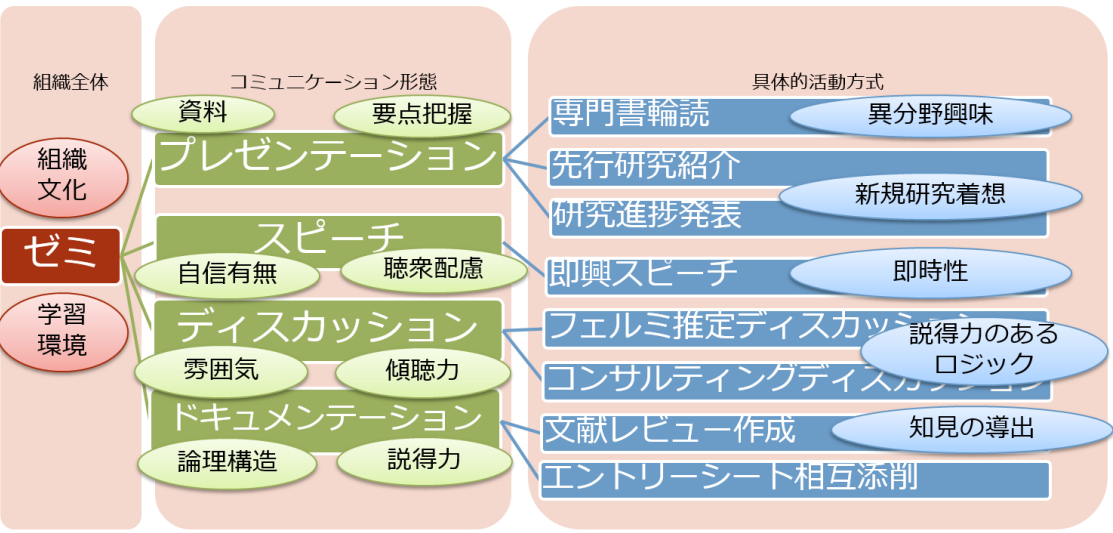
従来型コミュニケーション機能 (ビデオ会議、VR会議) の拡張パッケージ化

実践

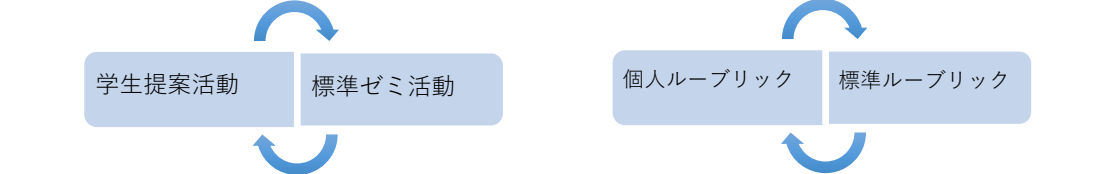
(本応募内容) DB構造等の日英仏3言語対応

- 単一大学ゼミでの試行 (2014~2016: 3年間)
- 早稲田大学3・4年生のべ66名
  - プレゼンテーション220件、スピーチ248件
  - 1件につき、6~16個の評価項目について、毎回20名の相互評価データを蓄積
- 国内複数大学協働によるVゼミ (2017)
- 早稲田大学=共立女子大学のVゼミ
  - 遠隔環境での相互評価・即時フィードバック
- 国際複数大学協働によるVゼミ (2018年6月~)

特徴：活動方法別のルーブリック管理機能



特徴：エンドユーザーによる活動方法・ルーブリック提案



活動方法・関わり方のプロトタイピング, UX可視化をねらいとし、Vゼミを通じた自己生成的な活動方法・ルーブリックの標準化を促進